

農作物の生育概況等について

1 気象経過

4月は平均気温が高く、日照時間は多く経過したが、4月29日～30日に村山、最上地域で積雪が確認された。5月上旬は平均気温が平年並～低く、日照時間は多く経過している。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

- ・ 田植え作業は、庄内地域で5月7日頃から始まり（平年比－2日）、内陸地域では、5月14日頃から開始している。

(2) 果 樹

- ・ 露地さくらんぼ「佐藤錦」の生育は平年より2～4日程度早く、県内の「佐藤錦」の満開期は4月25日～28日頃となった。
- ・ りんご、西洋なし、もも等の生育は、平年より2～3日程度早くなっている。
- ・ 4月17日及び20日の早朝に降霜が見られた。さくらんぼの雌しべの枯死率は、一部に40%前後の園地があるものの、多くの園地では0～20%程度で、全般には結実に影響する大きな被害ではないものと見込んでいる。
- ・ 「やまがた紅王」の満開期は4月20～24日頃となり、生育は概ね順調である。
- ・ ハウスさくらんぼは、現在の品質は概ね良好で、価格は前年より高くなっている。

(3) 野 菜

- ・ きゅうりのハウス栽培の収穫は、平年並みの5月上旬から盛期に入っている。
- ・ 露地すいかの定植盛期は、平年並みの4月20日頃から5月10日頃、露地メロンの定植盛期は、平年並みの4月20日頃から4月30日頃で、定植後の生育は概ね良好である。
- ・ 4月29日～30日に村山、最上地域で降雪があり、最上地域のアスパラガスで茎葉の損傷等が確認されているが、5月6日から収穫が再開されている。

(4) 花 き

- ・ 周年栽培のばらやアルストロメリアは、継続出荷され、品質は良好である。
- ・ 母の日に向けたポットカーネーションが、例年どおり4月下旬～5月上旬に出荷盛期となり、品質は良好であった。

3 当面の主な技術対策

〈水 稲〉適期の田植え及び適正な水管理による初期生育促進の徹底

〈果 樹〉さくらんぼ・りんご・西洋なし・もも等の摘果の徹底、さくらんぼ・ぶどうハウス栽培の生育に応じた温度管理の徹底、りんご黒星病等の防除の徹底

〈野 菜〉ハウス・露地トンネル果菜類（すいか、メロン等）の温度管理の徹底

〈花 き〉りんどうやトルコぎきょう等の、定植に向けた計画的な圃場準備

4 農作業安全対策

農繁期を迎え、機械作業・高所作業が増えることから、農作業事故防止のための基本的な対策を再度確認し、徹底する。